

一九三四番

相思あひおもはぬ 妹いもをやもとな 菅すがの根ねの 長ながき春はる日を
思おもひ暮くらさむ

一九三五番

春はるされば まづ鳴なく鳥とりの うぐひすの 言ことば先ま立ち
し 君きみをし待またむ

一九三六番

相思あひおもはず あるらむ見こゆゑ故 玉たまの緒をの 長ながき春はる日を
思おもひ暮くらさむ